



ノーベル医学・生理学賞 大隅良典氏のメッセージ

今年のノーベル医学・生理学賞に、東京工業大学栄誉教授の大隅良典氏が選ばれました。日本人のノーベル賞受賞は3年連続、医学・生理学賞の受賞は昨年の大村智氏に続き4人目であり、同じ日本人として大変誇らしく感じました。

受賞の会見で大隅氏は、「ノーベル賞は研究者を目指していた少年時代から大きな憧れだった。ただ好奇心に導かれるように研究に没頭する中では（賞は）全く意識の外にあった」と話されており、夢をもちつつ無欲で研究を続けるという努力が実を結びました。2年生キャリア講演会（3年生は昨年聞いていますね）で金沢工業大学の白木先生が話された「夢を叶えるのは、夢をもつ人だけである」という言葉が思い出されます。

そして、若い人へのメッセージを求められた大隅氏は、「『あれっ』と思うことがたくさん世の中にはあるので、子ども達には、そうしたことへの気づきを大切にして欲しいです。分かっているようで何も分かっていないことがたくさんあるので、『なんとかなるさ』というくらいの気持ちでチャレンジして欲しい」と述べられています。これはどんな分野にも当てはまることなので、皆さんにも胸に留めておいて欲しい言葉です。

きっと、大隅氏自身が少年時代をそのように過ごしてきたかなと思いました。「感じたら動く」という言葉があり、つなげれば「感動」です。自分自身が心が動かされたことに挑戦することで、その人しか味わえない感動と出会えるという意味かなと思います。皆さん一人ひとりには素晴らしい可能性が秘められています。失敗を恐れず積極的にチャレンジし、自分なりの感動に出会って下さい。

顕微鏡少年の夢らんらんと＜北野知子＞

